

目次



1…杉の木



2…水神社の歴史



3…御神鏡について



4…あとがき



杉の木

- ・ 杉の木は今から 350 年前に植えられて、手前の杉の木 2 本は縁起がよく、スポーツや学問のパワースポットとなっています。
- ・ 以前、杉の木はもっとありましたが、国の材料として多くが、強制的に切られてしまいました。



歴史

- ・もとは神社が5つ、寺が1つあった。
- ・新しい国にしたくて、寺を壊した。
- ・周囲は広大な田んぼが広がっていた。



※以前、国宝は水神社の御神鏡のほかに、秋田県に3つあった。

→国宝は全て大仙市にあった。



御神鏡は 28 年、再度国宝の申請がなされ、中央専門家の
調査によって国宝の指定受けました。

国宝としての価値は、仏像を現した蹴彫芸術にあるそうです。

背面の紋様の間に

崇期 仏師僧

大趣具主 延暦僧仁祐

女具主 藤原安女子

の 3 行が彫られ、藤原時代を物語っているようです。

※具主の名前はいまだにわかっていません。

あとがき

- ・以上で秋田県唯一の
国宝の紹介を終わります。

ぜひ、皆さんも
水神社へ来てみてください。

